

「十六銀行卓球教室」を開催しました

当行は、スポーツ振興を通じて地域の更なる活性化につなげたいとの思いから、「十六銀行卓球教室」を開催しました。本教室では日本卓球リーグ女子1部にて活躍する当行卓球部の選手が技術指導を行うことにより、地元岐阜県内の若手有力選手の育成・強化を目指しています。

1. 概要

(1) 開催日時 平成31年2月9日(土) 10:00～15:00

<プログラム>

10:00～	開会式(営業統括本部部長 挨拶)
10:15～	練習
12:00～	昼食
13:00～	練習
14:30～	閉会式(営業統括本部部長 挨拶)・集合写真

(2) 開催場所 じゅうろくてつめいギャラリー (岐阜市徹明通1-3)

(3) 参加者 岐阜県内卓球大会において優秀な成績を収められた女子中学生 15名

(4) 主催者 当行

共催者 岐阜県卓球協会

2. 開催の背景

日本卓球リーグ女子1部で活躍する当行卓球部は、これまでも、卓球教室の開催を希望する各種団体の要望に可能な限りお応えしてまいりました。今回で6回目となる本教室は、普及ではなく「育成・強化」を目的とするものであり、岐阜県卓球協会に協力を仰ぎ、岐阜県内の若手有力選手を限定で招待しています。当行卓球部の直接的な技術指導により、世界で活躍できる選手の輩出を目指すほか、スポーツ振興を通じて地域の更なる活性化と発展を目指していきたいと考えています。

3. 開催の様子

当日は、卓球部員4名およびコーチ1名(計5名)が、女子中学生15名を4チームに分けて、指導しました。

卓球部員とのラリーや直接指導に、参加された女子中学生の方は真剣に聞きながら、卓球部員からの声援に喜びの笑顔を浮かべるなど、大変盛り上がりました。

参加者からは「あこがれの選手から直接教えていただくことができ、本当に嬉しかった!」、「足の細かい動きや打ち方をしっかり教えていただけた。」「試合に臨む際の精神面についての話も聴くことができ良かった。」といった声のほか、引率者からも「この卓球教室に参加することをとても楽しみにしていました。トップ選手に指導していただけて本当にありがたいです。」といった声が寄せられました。



＜ご参考＞ 当行卓球部について

当行卓球部は、昭和55年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子1部チームとして活躍しています。

平成30年度は、前期日本リーグで6年ぶり4回目の優勝を成し遂げ、第52回全日本社会人卓球選手権大会の女子ダブルスで松澤菜里奈選手と高橋真梨子選手が3位入賞を果たしました。また平成30年度後期日本リーグで4位の成績となり、本大会で今年度入社の上野怜選手が「新人賞」と「優秀選手賞」を受賞するなど活躍しています。

また、競技活動と併せて、県下の児童福祉施設児童との交流や地域主催の卓球教室などに積極的に参加し、卓球競技の普及・レベル向上に努めています。

以上